

ブラウザからの設定・操作手順

1

ブラウザを開いてRTA50iへアクセスします。
[パスワード]欄にパスワードを入力し、[OK]ボタンを押します。



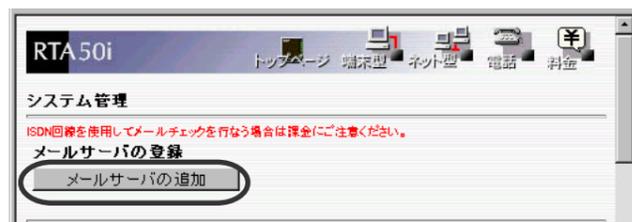
2

「かんたん設定ページ」が表示されたら、[システム管理]を押します。



3

「システム管理」ページの[メールサーバの追加]ボタンを押します。



4

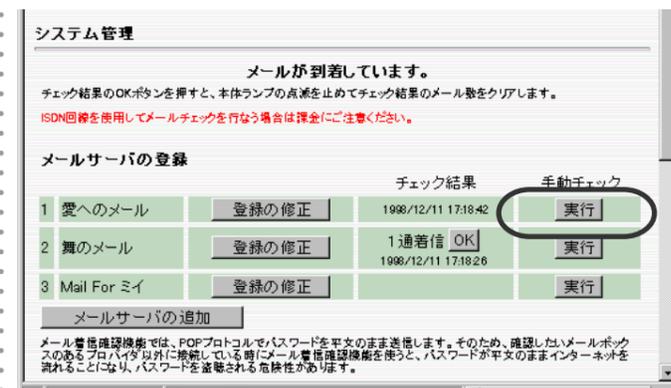
メールサーバの名称、メールサーバのIPアドレス、ユーザ名、パスワードを入力し、[登録]ボタンを押します。
メールサーバのIPアドレス、ユーザ名、パスワードは、プロバイダから通知されたものを入力してください。

一定時間ごとにメールチェックを行う場合には、「自動チェック」を「行なう」を選択し、「自動チェック間隔」の時間間隔と指定時刻を入力します。
メッセージに従ってボタンを押すと、設定が登録されて「システム管理」ページへ戻ります。



5

手動チェックする場合には、登録したメールサーバの名称に対応する「手動チェック」欄の[実行]ボタンを押すと新しいメールがあるかどうかを調べます。
プロバイダへ接続していない時には、チェックを行うためにプロバイダと接続するので通信料金がかかります。
手動チェックでも自動チェックでも、既にプロバイダと接続中の場合、そのプロバイダのメールサーバでないメールサーバに対してこのコマンドが実行されると、パスワード情報などが暗号化されずにインターネット上にまで流れるので注意が必要です。



6

手動チェックの結果、新しいメールがあるとL1 LEDの点滅で知らせます。自動チェックの場合には指定時刻が来ると自動的にチェックが実行され、新しいメールがあるとL1 LEDの点滅で知らせます。メールサーバ1に新しいメールがあると、L1 LEDが1回ピカッと光るのを繰り返します。もしメールサーバの1と2に新しいメールがあると、ピカッ...ピカピカッという繰り返しが現れます。なお、サーバ3と4は区別されずにピカピカピカッという点滅で表されます。

7

「チェック結果」欄の[OK]ボタンを押すと、対応したサーバ番号の点滅パターンが消えます。

メール着信確認機能は、プロバイダに新しいメールがあるかどうかを確認して、L1 LEDを点滅させたり、ブラウザで確かめたりする機能です。対応するプロバイダ等の情報はYAMAHA ISDNホームページの情報をご覧ください。実行の際には説明文中のパスワードの盗聴に関する危険性について十分ご注意ください。

コンソールからの設定・操作手順

1

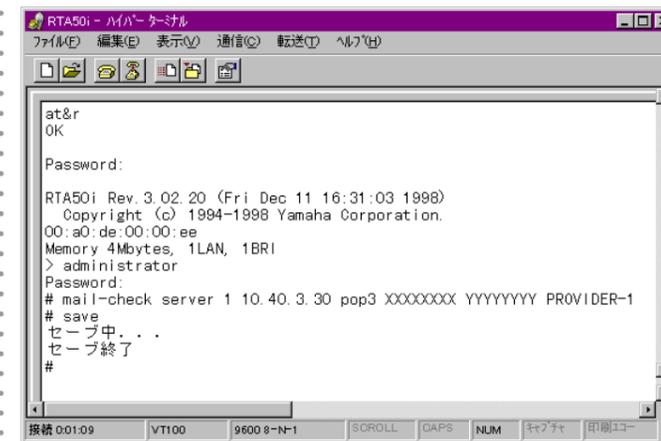
RTA50iのコンソールへアクセスします。
コンソールとしては、TELNETによりアクセスするか、SERIALポートに接続したパソコン上でターミナルソフトを開きます。
SERIALポートからログインする場合には、at&r コマンドを入力してコンソールに切り替えます。

2

パスワードを入力してログインし、administrator コマンドを実行します。

3

mail-check server コマンドを入力してメールサーバの設定を行い、save コマンドを実行して設定内容を保存してください。



4

mail-check go コマンドを実行します。
サーバ番号が1の場合には mail-check go 1 と入力し、リターンキーを押します。

5

show mail-check status コマンドで結果を確認します。



6

確認が済んだら、mail-check led off コマンドを実行して、L1 LEDの点滅を止めます。



コンソールコマンド一覧

メールサーバの設定

[入力形式] 1. mail-check server *N DESTINATION* pop3 *USERID* *PASSWORD [NAME]*
2. mail-check server *N* clear

[パラメータ] ・ *N* ... サーバ番号(1..4)
・ *DESTINATION* ... メールサーバのIPアドレス
ホスト名
clear ... メールサーバの宛先なし
・ *USERID* ... ユーザID (40文字以内)
・ *PASSWORD* ... パスワード (40文字以内)
・ *NAME* ... 識別名(32文字以内)

[説明] メールサーバのIPアドレス等の情報を設定する。

メールチェックの実行

[入力形式] mail-check go *N*

[パラメータ] *N* ... サーバ番号(1..4)

[説明] メールチェックを実行する。
結果はL1 LEDの点滅で知らされる。

[ノート] 既に接続中のプロバイダにないメールサーバに対してこのコマンドを実行すると、パスワード情報などが暗号化されずにインターネット上に流れるので注意が必要。

メールチェックによるLEDの消灯

[入力形式] mail-check led off [*N*]

[パラメータ] ・ off ... LEDの消灯
・ *N* ... サーバ番号(1..4) (省略時は全てのサーバ番号)

[説明] メール着信を通知するL1 LEDの点滅を止める。

メールチェックの状態表示

[入力形式] show mail-check status [*N*]

[パラメータ] *N* ... サーバ番号(1..4) (省略時は全てのサーバ番号)

[説明] 先のメールチェックの実行結果を表示する。

メールチェックタイムアウトの設定

[入力形式] mail-check timeout *N TIME*

[パラメータ] ・ *N* ... サーバ番号(1..4)
・ *TIME* ... メール到着チェック時にタイムアウトするまでの秒数(1..180)

[説明] メールチェックでのタイムアウトするまでの時間を設定する。
メールサーバに対するアクセスに時間がかかる場合はこの値を大きくする。

[デフォルト値] 30秒

パソコンの設定について

1 お使いのパソコンで RVS-COM を使用するためには、パソコンの設定が必要です。具体的な設定手順については製品添付の別紙をご覧ください。

また、RVS-COM 対応に関する最新情報については YAMAHA ISDN ホームページの RTA50i に関する下記のページを参照してください。

URL <http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RTA50i/index.html>

パソコンでの FAX 受信手順

1 パソコンの RVS-COM を起動して、FAX 受信できる状態にしておきます。

2 アナログの着信があると、接続してあるアナログ機器の呼出音が鳴ります。

3 15 秒経過すると、自動的にアナログ機器の呼出音が切れ、RVS-COM が応答します。
なお、呼出音が鳴っている間に受話器を取り、フッキングしてから [*] [0] を押すと着信はすぐにパソコンへ転送されます。

パソコンからの FAX 送信手順

1 パソコンの RVS-COM を起動します。

2 送信したいファイルを開き、プリンタに「RVS-COM」を指定して印刷と同じ操作を行います。

3 RVS-COM のダイアログに従って相手電話番号などを入力します。

パソコンで FAX を受信させない 設定手順

1 アナログポートに接続したアナログ電話機を受話器をあげます。発信音が聞こえます。

2 [*] と [#] を押します。
発信音が止まり、「ツツー、ツツー」という音が聞こえます。

3 6 4 0 を押し、[#] を押します。
「ピー」という音が聞こえ、RVS-COM の着信を拒否する設定に切り替わります。
(もとの設定に戻す場合には、6 4 1 を押し、[#] を押します)

4 受話器を置きます。

電話機からの設定コマンド一覧

送話 PAD の設定 analog pad send dte

機能番号	設定値		初期設定値
61	ポート番号	PAD 値	0
	0 = SERIAL	0 = PAD なし	
	1 = TEL1	1 = -3dB	
	2 = TEL2	2 = -6dB	
	3 = TEL3	3 = -9dB	

受話 PAD の設定 analog pad receive dte

機能番号	設定値		初期設定値
62	ポート番号	PAD 値	0
	0 = SERIAL	0 = PAD なし	
	1 = TEL1	1 = -3dB	
	2 = TEL2	2 = -6dB	
	3 = TEL3	3 = -9dB	

RVS-COM 着信の許可 analog arrive dte permit

機能番号	設定値	初期設定値
64	0 = 許可しない 1 = 許可する	1

アナログ機器を呼び出す時間の設定 analog arrive dte timer

機能番号	設定値	初期設定値
65	0 = OFF 5-160 (秒)	15

コンソールコマンド一覧

SERIAL ポートでの送話 PAD の設定

[入力形式] analog pad send dte PAD

[パラメータ] ・ PAD
off ... PAD を設定しない
-3db ... -3db
-6db ... -6db
-9db ... -9db

[説明] RVS-COM で FAX/TEL 使用時の送話 PAD を設定する。

[デフォルト値] off

SERIAL ポートでの受話 PAD の設定

[入力形式] analog pad receive dte PAD

[パラメータ] ・ PAD
off ... PAD を設定しない
-3db ... -3db
-6db ... -6db
-9db ... -9db

[説明] RVS-COM で FAX/TEL 使用時の受話 PAD を設定する。

[デフォルト値] off

SERIAL ポートでの着信を許可するか否かの設定

[入力形式] analog arrive dte permit SWITCH

[パラメータ] ・ SWITCH
on ... 許可する
off ... 許可しない

[説明] アナログの着信が来たときに SERIAL ポートで着信を受けるか否かを設定する。

[デフォルト値] on

アナログ機器を呼び出す時間の設定

[入力形式] analog arrive dte timer TIME

[パラメータ] ・ TIME
off ... 即座に SERIAL ポートだけに着信させる
アナログ機器を呼び出す秒数(5..160)

[説明] RVS-COM のために SERIAL ポートで着信を受けるまで、アナログポートの機器を呼び出す時間を指定する。指定時間後パソコンに着信させる。SERIAL ポートに接続された PC 上で RVS-COM が起動されていなければこの設定は無効。

[デフォルト値] 15 秒

RVS-COM に関する設定の表示

[入力形式] show analog config dte

[パラメータ] なし

[説明] RVS-COM に関する設定を表示する。